

校内研究通信

武蔵村山市立第三小学校

令和3年7月19日

研究部

昨年度までの校内研究について

昨年度は、「主体的に学習に取り組み、思考を深める児童の育成」を主題に掲げ研究を行いました。本校は特に「基礎・基本の力」「主体性」「思考力」の3点を課題ととらえ、「国語科」「生活科」「体育科」「特別活動」の4つの教科を横断的に研究し、それぞれの教科の良さを活かした授業改善を目指しました。以前から整えてきたICT機器を、各教科で必要に応じて効果的に活用する方法を共有し実践しました。また、児童が自分の思いや疑問を表現したくなるような「しかけ」を作ることで、児童が主体的に学習に取り組めるようになってきました。

今年度の校内研究について

今年度、本校では引き続き、「主体的に学習に取り組み、思考を深める児童の育成」を主題に掲げ研究を行っていきます。教科は、現在武蔵村山市全体でも向上が求められている「算数」で行います。昨年度の成果で得られた、様々な教科において有効な「しかけ」を活用し、主体的な学びから思考を深める学びへと連動させ、児童が思考を深められるような授業改善の研究を行っていきます。

昨年度のしかけの例

(国語)POP作りを単元のゴールに設定する。
(生活科)授業の振り返りの際に、次の時間にやりた
いことを考えさせておく。
(特活)話し合いの際に、ホワイトボードを活用する。
(体育)単元の1時間目から児童が見通しをもって、
スムーズに動けるような教師側のマネジメント
を効果的に行う。

今年度の研究を進める上で大切にしていこう

① 「算数科」を研究していきます。

今年度は、算数において研究を行います。本校の課題として、「基礎・基本の定着」「主体的に学習する力」「思考力を高める」の3点が挙げられています。昨年度、成果として得られた、主体的な学びにつなげる「しかけ」を基に、児童の思考を深めさせる次の「しかけ」のアイデアを、教員みんなで出し合い、考えていきます。また、その「思考力」を、「物事を多面的に考える思考力」と「物事の筋道を論理的に分析する思考力」の二つ視点で研究を進めます。定期的に意識調査を実施して児童の変容を明確化し、計画的・組織的・協働的に授業改善に取り組んでいきます。

② 「主体的な学び」の実現を目指します。

昨年度の成果を土台に更なる授業改善に向けて、視点を絞って研究授業を行っていきます。特に、「主体的な学び」というキーワードに着目し、どのような指導の手だてを行えばよいか、児童の変容・成果をどう見取るかを、研究授業と協議会で考えていきます。

研究を進めることで、教員の指導力向上を図り、子供たちの「授業が好き！楽しい！」という気持ちを「できる、分かる！」につなげ、学力向上に努めていきます。

今後の予定について

対象学年による研究授業と、校内研修会を中心にして研究を進めていきます。研究授業の際には、学級によって下校時刻が変わる場合もありますので、学校便りや学年便り等で御確認ください。

また、これから研究を進めていく中で、家庭学習や学習に使用する用具について、御協力をお願いすることがあると思いますが、どうぞよろしくお願ひいたします。